

産業建設委員会記録

開会年月日	令和2年8月11日
開会時刻	午前10時59分
閉会時刻	午前11時29分
出席委員名	◎辻 孝記 ○宮崎 誠 野口佳子 小山 敏
	浜口和久 山本正一 宿 典泰 世古口新吾
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	野口佳子 小山 敏
担当書記	森田晃司
審査案件	議案第78号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）（産業建設委員会関係分）
説明者	産業観光部長、産業観光部参事、商工労政課長、商工労政課副参事、観光振興課長、観光誘客課長、その他関係参与

審査経過

辻委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に野口委員、小山委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、本日の本会議において審査付託を受けた「議案第78号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」を審査し、全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前10時59分

◎辻孝記委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において野口委員、小山委員の御兩名を指名いたします。

本日御審査いただきます案件は「議案第78号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」であります。

お諮りいたします。

審査の方法につきましては委員長に御一任願いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御異議なしと認めます。

そのように取り計らいさせていただきます。

また、委員間の自由討議については、申し出がありましたら随時行いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【議案第78号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）（産業建設委員会関係分）】

◎辻孝記委員長

それでは、「議案第78号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算（第6号）中、産業建設委員会関係分」を御審査願います。

補正予算書の18ページをお開きください。

款7商工費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

小山委員。

○小山敏委員

中事業1、小規模事業者応援寄附金のことで少し確認させてください。

事業概要書を見ますと、対象要件として令和2年1月から12月までの12か月間のうち

の1か月が、対前年比30%以上が対象になるということなのですが、では、年間通して横ばいもしくはやや微増であっても、一月だけマイナス30%なら支給されるという、こういう理解でよろしいですか。

◎辻孝記委員長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

仰せのとおりでございます。

これは国の持続化給付金制度に倣ってございます。

◎辻孝記委員長

小山委員。

○小山敏委員

国の制度がそういうふうに年間通して逆にプラスであっても、一月でもマイナスがあれば支給されるという、そういうことですか。

◎辻孝記委員長

商工労政課副参事。

●野中商工労政課副参事

法人もしくは青色申告の個人事業主に関しましては、仰せのとおり1か月だけ50%下がったというふうな仕組みになっておりまして、それに倣って伊勢市のほうでもそのようにさせていただいております。

ただ、白色申告でいまして個人ですと月別に判断する資料ございませんもので、その場合は1年間通して、それを12か月で割ったものと、今年の任意の1か月と比較して下がった分で比較させていただいております。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御発言もないようですので、款7 商工費の審査を終わります。

次に20ページをお開きください。

款8 観光費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

世古口委員。

○世古口新吾委員

観光費、総務費のところの新型コロナウイルス感染防止対策事業ということで、本会議場でも副市長のほうから説明があったわけですが、ここの1項目めの観光地感染防止対策事業というところでお尋ねしたいと思います。

観光地感染防止対策事業ということで、1,300万円が上がっておりますが、これにつきましては、観光協会と共同で事業を実施していくということで説明があったかと思えます。そうした中におきまして、熱中症対策、道路等の消毒の説明がございました。その中におきまして、熱中症対策について、やはり対策ということで具体的なものが出ておらなかったわけですが、私素人考えで思いますが、熱中症対策となってくると、日にもよろうかと思えますが、水の散布とか、時間を決めて観光客に対し事前に周知しといて水の散布とか、あるいはまた氷の柱があるところへ設置とか、そういったことについて必要ではないかなと思えます。その辺についてどう考えておるのか、そして、道路等の消毒ということでどういう具体的なことを考えておるのか、その辺についてお聞きしたいと思います。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

まず、熱中症対策につきましてはですね、概要書に記載のとおりミスト噴霧器、水をミスト化したものを噴霧する機械の設置を考えております。昨年度も試験的にホースからミストを噴霧するという実績もありますので、そういったもの機械で噴霧することをまず考えております。それからもう一つの感染症対策の消毒液につきましては、道路自体を消毒するものではありませんで、通行人が利用できる消毒液スタンドを道路に設置するというところで考えておりますので、御了承ください。

◎辻孝記委員長

世古口委員。

○世古口新吾委員

そうしますと、ミスト器を設置してそれで散布するというところで再度説明があったわけですが、やはり夏場なってくると非常に気温が上がりますし、天気の良い日については水の散布とかそんなが必要ではないかなと思えます。そこまでは考えておらないということですね。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

今回の予算におきましては、ミスト噴霧器を設置ということで考えておりますので、よろしくお願いたします。

◎辻孝記委員長
世古口委員。

○世古口新吾委員

分かりました。ここにつきましては終わっておきます。

それから、本会議場でも、クリエイターズワーケーション促進事業ということで、小山委員のほうからいろいろ質問がございまして、聞いて理解したわけですが、私がお聞きしたいのは事業についてのそのものじゃなくして、クリエイターズワーケーション促進事業についての理解しましたし、またその部分についてどうのこうの言うつもりはないわけですが、視点を変えて感染症対策ということで、やっぱり徹底した指導が必要ではないか、市としての。それについて市としてどのように考えているのか具体的なものがあればお聞きしたいと思います。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

宿泊施設につきましては、もちろんガイドラインに基づき感染防止対策の徹底を図ることをお願いする次第でございますが、参加していただくクリエイターの方、当初、東海・関西圏を予定しておりましたが、ちょうどこの事業案を考えていたときに、首都圏が突出して感染者数が多かったので、比較的近い東海・関西圏の予定しておりましたが、この今の感染の状況を見ておきますと、なかなかこの地域を限定も難しくなってきたかなと考えております。クリエイターの募集、9月、10月ごろに行う予定ではございますが、そのときの人口当たりの感染者数など考えまして、また募集の方法も考えていきたいと思っております。もちろん参加者には直近の行動履歴とかも出してもらおうような形で考えております。以上でございます。

◎辻孝記委員長
よろしいですか。他に御発言はありますか。
宿委員。

○宿典泰委員

私は、今回予算に計上されたA Iカメラの関係で債務負担行為が上げられておりますけれども、この辺りの事情について御説明を願いたいと思っております。

◎辻孝記委員長
観光振興課長。

●小林観光振興課長

こちらにつきましては、今年度カメラの設置を考えております。そこから人の動きのデータをとるんですけども、全員協議会の中でも御意見いただいたところですけども、今年度限りで終わる事業ではないと考えております。新たな生活様式の中で密を避けていただく一つの判断材料として、2か年は情報としてまず収集していく必要があるかというふうに考えておりますので、2か年、それぞれデータの解析、それから情報発信に係る業務委託料を想定しております。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

もう1点は、皆さんからの御質問が出ておる旅客誘致のことのクリエイターズワーケーションのことなんですけれども、これに関しても1点だけ御質問申し上げたいんですけれども、実際にはこれ、やはり我々もなかなか新しい事業で頭にずっと入ってこないという点もあろうと思って、小山委員からも御質問があって理解をさしていただくところなんですけれども、実際に観光関連概要書を見ても、以前からやはり誘客、それと情報発信にある程度の大きな予算が組まれて、また執行されております。その実際にその誘客の効果であったり情報発信の効果っていうのがなかなか我々の中でのものとして見えないというね、その辺りのことが、やはり今回もクリエイターの方に来ていただいてということで、宿泊してということの発信をしてもらうわけなんですけれども、それはなかなか目に見えていいのか、手に取っていいのか、そういうことがなかなか見にくい面で皆さんからの御心配もあって質問が多いと思うんですよね。その辺りについて、やはり言われることは分かるんですけども、今回新しい生活様式があって、観光も今本当に新しい観光を今後考えていく必要もあるのかなというふうな時代になってきた。その新しい取組として、こういったことをきっかけに一度、クリエイターの方の発信力を期待しながら発信をしていく事業を一度取り組みたいというような、この前段の説明も若干足らんのかなとこんなことを思うんで、その辺りもう一度御見解を伺いたいなと思います。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

今回、クリエイターの起用につきましても、このコロナ禍で今年度、観光誘客課は誘客活動がほぼできてない状況でございます。では、今何ができるかといえば、コロナ禍が落ち着いたときに、ぜひ伊勢に行きたいという気持ちを持ってもらうようなイメージを植えていくような時期だと思っております。今回、クリエイターの方たちの観光の視点で、長期滞在による神宮参拝だけでない本当のまち歩きというのを体験していただいて、この観光資源の発掘発信をしてもらいたいという狙いがございます。観光振興基本計画にも、観光客の視点を生かして魅力ある地域資源を発掘、発見とありますので、今回の事業でも一部合致してるところもあるかと思っておりますので、今回この新たな視点で発信していくっていい

うことで、御理解いただきたいと思います。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

言われることはよく理解しました。ただ、これからも来年のことを言ってもあれですけど、これで実績が上がるというような評価が出たときにですね、また来年も予算を組みたいというような希望的な話も出たし、それをどれぐらい続けていくのかっていうこともあると思うんですけど、実際にはこういう観光地の取り組みというのが全国津々浦々でいろんな取り組みをSNSでやっておると思うんですよ。だからそういったことへのアンテナを広くしていただいてですね、その辺りのことを取り組みをこれからもしていくんやというようなことをやっぱりちょっと前面に出してやらないと、急にこのことだけ出てくると、おいおい大丈夫なんかいというような、今回特に国の予算でやるから安心しとるやないけれど、市単でやる話ではないので、一遍試してみるのに賛成するかというようなことではあまりちょっとどうかなと思うので、その辺りのところをきちっとやっていただきたいなど、こんなことを思います。

それと、クリエイターの関係のSNSへの発信と言いましたけど、やっぱり選考委員というのが非常に僕は大事なかなと。選考されるということやけども、たとえこれ50人じゃなくて、小山委員の話からも、たとえ30人であってもね、そのクリエイターの方が非常に魅力ある、本人が魅力があって、非常に実績があって、いろいろSNSでの発信力があって、ほとんどのファンというのかそういう人らがそれにアクセスしとるとというような状況もこう読み取れてくると、やはりその辺りの事業展開で随分変わってくるんかなと思うんですけども、その選考のあり方について庁内で十分検討していただかならんと思うんやけれど、その辺りのことをもう一度お聞かせください。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

選定委員会には有識者、例えば美術手帳の編集長など、大学の先生などの有識者の方も交え、またこの地元のクリエイターの方なども検討してまいりたいと思っております。以上です。

◎辻孝記委員長
宿委員。

○宿典泰委員

確かに大学の先生もいい話でありますけれども、その選考される委員の人らも非常に大事かなと。御本人に参加してもらいたいのもいいんかなと思うぐらい、やはりこう発信力のあ

る人に入れていただきたいなど。これはもうこれからやることですので、お願いということになりますのでよろしくお願いしたいと思います。

あともう一点は、これも小山委員からも宿泊施設の問題がありました。私も非常に気になっています。二見の旅館街の話は部長のほうからお聞きをしたんですけど、やはり二見の旅館街を見回してみても、非常に旅館として努力をしておる旅館と、そうでもないという言い方はいけませんけれど、やはり将来に向けてまだまだやる気でやってもらったという旅館との違いというのがやはり目に映る、我々素人でもね。その辺りの選定と、万一そこへ行って、クリエイターの人にあまりいい評価がもらえなかったということになってくると逆効果になってしまいます。その辺りのことについてどのように、ある程度情報操作はできないと思うんですけど、ある程度受ける旅館街は二見地区全体の話にもなると思うので、その辺りどのような指導というのか話し合いをしていくのか、ちょっと確認をしたいと思います。

◎辻孝記委員長

観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

今回、宿泊施設につきましても、宿泊施設の方から手上げ方式で募集させていただきま。その点でもやる気のある施設の方が募集してきていただけたらと考えておりますが、今後はワーケーションを進めていくに当たりまして、そのクリエイターさんからの意見も真摯な意見としまして、これはお宿のほうには提供させていただいて、今後の受け入れ環境整備に、参考にしていただければと思っておりますので、忌憚のない意見を求めていこうと思っております。以上でございます。

◎辻孝記委員長

宿委員。

○宿典泰委員

なかなか忌憚のないという大変なことで、お金を出してマイナスになる部分もあると思いますから、やはり参加の事業者、宿泊の事業者についてはいろんな協議をさせていただきたいなとこんなことを思います。正直、旅行関係の関連事業の中で情報発信やら誘客の関係でメディアに載るっていうことになると、その2週間後、3週間後には本当に伊勢神宮へのお参りがどっと増えたり、内宮・外宮への宿泊も増えたりというようなことも出てきます。ですから情報発信やら、やはり誘客の関係は非常に大事だと思いますけれども、今回のこの事業が、次新たに設置するときにはこのような状況でいい効果が表れるような状況にしていくということがもう大前提だと思うんですね。でないと、これで万一失敗するようなことがあって、ちょっとどうかなというような事業評価になってしまうと、次は立てられないというのか、新しい事業に取り組んでいこうというところに若干足を引っ張られるようなことになるので、その辺り今後の事業についてですね、やはり部長のほうからお話をいただきたいなど、こんなことと思います。

◎辻孝記委員長
産業観光部長。

●須崎産業観光部長

いろいろ御指摘ありがとうございます。

この事業につきましては、まずクリエイターをどのようなレベルで募集するかということにも課題があるのかと思っております。委員おっしゃられたように選考委員もですけど、どういったところから募集していいのかというところ、そちらには結構重点を置いて、専門的知識のある方に御指導いただいて、そういう組織とか発信力のあるメディアを通じてまずは募集をしたいと。それともう一点、二見地域の旅館につきましても、旅館の方が手を挙げていただく際に、その段階に達しておる旅館かどうかということもしっかりとその事業者の方とお話をさせていただいて、マイナスイメージのないように、まず入り口の段階でそういった話し合いもしながら募集をかけていきたいと思っております。何はともあれ、この事業を成功に導いてですね、来年度以降もしっかりしていけるように頑張ってもらいたいと思っておりますので、御支援・御協力よろしくお願ひしたいと思っております。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

野口委員。

○野口佳子委員

市内周遊促進事業なんですけど、ここの934万円が出てるんですけども、ここで自転車を貸していただくんですか。これ、15台とあるんですけど、これはどういうことなんでしょうか。

◎辻孝記委員長

観光誘客課長。

○富岡観光誘客課長

このコロナ禍で、皆さん公共交通機関をちょっと避けられるという傾向にありまして、現在レンタサイクルの需要が高まっている状況でございます。ただ、今観光協会でレンタサイクルを行っておりますが、電動自転車を5台しか持っておらず、今回この商品造成に当たり、この電動自転車を15台購入することにしております。以上でございます。

◎辻孝記委員長

野口委員。

○野口佳子委員

すみません。そうしましたら15台ですけども、これはどこのところに置いていただい

て、貸していただくんですか。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

現在外宮前に電動自転車5台ございまして、購入後は伊勢市駅前の手荷物預かり所に置いていこうと考えております。以上でございます。

◎辻孝記委員長
野口委員。

○野口佳子委員

そうしましたときに、ここのところの12ページに書いてあるんですけども、何かこの1番目のところの市内のバス事業のところ、旅行商品造成等委託料というのはどういうことなんでしょうか。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

このコロナの影響で観光バス需要が非常に減っております。ですので、市内周遊をするようなツアーを組んでいただきまして、その商品造成、そしてこの企画した会社から旅行会社へ販売していただくといったことでございます。以上でございます。

◎辻孝記委員長
野口委員。

○野口佳子委員

これは委託料ですので、そのところで何とかしていただくということによろしいですか。

◎辻孝記委員長
観光誘客課長。

●富岡観光誘客課長

そのとおりでございます。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

副委員長。

○宮崎誠副委員長

私からも1点お聞かせ願えればと思います。

目1の観光総務費の中、中事業1の観光地等混雑状況配信事業ということで、先ほど宿委員のほうからもですね、AIカメラについての御質問をいただきました。

その中で、今後の見通しとして、今回限りではないという回答いただきましたけれども、これについてですね、実際これはAIカメラを利用するというので、市内の人の動向だけになるかと思っております。他の自治体でもですね、同じように配信、この状況はどうかということもホームページ上でも発信されているということでもあります。本市としては、ホームページ上以外でも何かしらその観光PRとしてリーフレットであったりパンフレット等にですね、QRコードをつけてそこから確認ができるといった、そういったへ展開は望まれていますでしょうか。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

データの収集が始まってからですね、混雑状況の配信については、今おっしゃっていただいたような広く知っていただくことというのは重要になってこようかと思っておりますので、ホームページに誘導するQRコードであったりとか、交通状況を発信してますます伊勢もうでの連携等も考えていきたいと思っております。

◎辻孝記委員長

副委員長。

○宮崎誠副委員長

今回そういった形でですね、ぜひとも広く周知できるような体制を取っていただきたいと思っております。

そして、もう一つあるんですが、今回この質問をさせていただいた経緯の中でですね、国土交通省のほうでICTとAIを活用したエリア観光渋滞対策というものが打ち上げられておまして、その中に各自治体からの提案内容だったりとか、そういったものもインターネット上でもですね、確認ができる状態となっております。本市としましても、今回限りではないということであれば、そういった渋滞の緩和だったり、そういったことも兼ねてやっていくべきではないかと考えておりますけれども、そのことについて何か調べて見据えている点、その辺あればお聞かせ願いたいと思っております。

◎辻孝記委員長

観光振興課長。

●小林観光振興課長

おっしゃっていただいて、広く活用できるような形でデータの収集はしてまいりたいと思います。まずは人の動きのデータを取るということでスタートさせていただきたいと思っておりますので、その点御理解いただきたいと思っております。

◎辻孝記委員長

産業観光部長。

●須崎産業観光部長

少し補足をさせていただきます。私たちもですね、まず交通事業者のほうと一緒にやらないかということで、交通政策課も通じて検討させていただきました。ただ交通事業者についてはですね、感染対策も含めてですね、利用状況をこれからどうやって上げていくのかということを探索中でありますので、まず、最初から混雑状況ということには少し、ということでごさいます。おっしゃっていただいた観光庁や国交省の事業もですね、来年度は手を挙げていって、交通事業者とも連携しながらこのようなことを進めてまいりたいと思っております。具体的には、駅の構内とかバス停についてはこの事業でさせていただこうと思っておりますが、車内等へも広げていけたらなという希望を持っておりますので、よろしくお願いたします。

◎辻孝記委員長

副委員長。

○宮崎誠副委員長

今回はこういった質問をさせていただいたということですね、実際に他の自治体でもパークアンドバスライドを利用している自治体さんもあります。民間で利用されている駐車場への誘導だったりとか、そういったことにもつながっていくということで、渋滞の緩和だけではなくてですね、人の動向、それを精査していけばですね、今後の観光事業にも有利な点、必ずメリットが出てくるかと思っておりますので、ぜひともいろんなことにですね、アンテナを張っていただいて、そこでの施策をどんどん練っていただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上です。

◎辻孝記委員長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御発言もないようでありますので、款8観光費の審査を終わります。

以上で、議案第78号中、産業建設委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

議案第 78 号令和 2 年度伊勢市一般会計補正予算第 6 号中、産業建設委員会関係分につきましては、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で付託案件の審査はすべて終了いたしました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成につきましては正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で御審査願います案件はすべて終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時29分

上記署名する。

令和 2 年 8 月 11 日

委 員 長

委 員

委 員